

この文書の内容につき、ご不安・ご質問等ありましたら、担当医または放射線科医師までお尋ねください。

ID・氏名

## 造影検査を受けられる方へ

(造影剤使用に関する説明書)

CT・DIP・DIC・血管造影用

### 造影剤とは？

- ・病気の有無・状態をより正確に判断できるように用いる薬です。
- ・検査の内容によっては、造影剤なしでは検査そのものに行えない場合もあります。

「ヨード造影剤」という種類の造影剤を用います。

- ▷ CT・DIP・DIC検査では、静脈(通常は肘～手背のいずれか)に注射して用います。
- ▷ 血管造影検査では、カテーテル(細い管)を通して体内の血管に注入して用います。

造影剤は基本的に安全な薬ですが、稀に副作用が起こることもあります。

万一、何らかの症状が出た場合には、医師・看護師が状態に応じて速やかに対処を行います。

1. 軽い副作用：吐き気・発疹・くしゃみ・咳などで、一時的な症状です。ほとんどの場合、治療を要しません。100人中3人程度に生じます。
2. 重い副作用：呼吸困難・意識障害・血圧低下・腎不全などの症状で、治療を要します。1万人に1～2人程度、生じるとされています。病状や体質によっては、極めて稀ですが死亡例の報告もあります。
3. 遅発性副作用：検査終了後、数時間から数日たった後に上記のような症状があらわれる場合があります。軽症の場合がほとんどですが、症状が強い場合には診察を受けてください。

※注射漏れ：CTではポンプを用いて勢いよく注射するために、血管外に造影剤が漏れることがあります。この場合、一時的に腫れて痛みを伴うことがありますが、通常は自然に吸収されてゆくため特別の治療は必要ありません。ただし、漏れた量が非常に多い場合には、皮膚科・整形外科等での治療が必要となる場合もあります。

### その他

- ▷ 「ヨード造影剤」を注射する際には、体が一時的に「熱い感じ」「ほてる感じ」になりますが、これは副作用ではありませんのでご安心下さい。
- ▷ 脱水状態では、副作用が出やすくなるとされています。検査前に絶食の指示が出ている方の場合でも、飲水は控えていただく必要はありません（乳製品・アルコールは除く）。
- ▷ 過去に同種の造影剤で副作用が出た方、重篤な甲状腺疾患のある方には、造影剤は使用しません。また、「気管支ぜんそく」などのアレルギー性疾患をお持ちの方、腎機能が低下している方では、副作用が出やすくなるため、原則として造影剤は使用しません。該当すると思われる方は、必ず問診票にご記入ください。

# 造影剤使用に関する 問診票 および 同意書

ID・氏名

検査予定

年齢	才
体重	kg

平成 年 月 日

CT 血管造影  
DIP DIC 他

検査

安全に検査を受けていただく上での参考にいたします。下記の項目にお答えください。

- 今までに、食べ物・薬などでアレルギーが出たことがありますか？  
( はい:具体的に いいえ )
  - 気管支喘息など、アレルギー性の病気をお持ちですか？  
( 喘息あり 喘息以外:具体的に いいえ )
  - 以前に、「造影剤」を注射して検査を受けたことがありますか？  
( はい わからない いいえ )
3. で「はい」と答えた方にお尋ねします。  
造影剤の注射の後、体の具合が悪くなったことがありますか？  
( はい:検査名 症状 いいえ )

= 医師確認欄 =

腎機能低下の有無 ( なし ・ あり ) eGFR : 禁忌<30<要注意<60<安全 を目安とする。  
ビグアナイド系糖尿病薬の処方 ( なし ・ あり ) 検査前後48時間(2日間)以上の休薬指示必要。  
βブロッカーの処方 ( なし ・ あり ) ではないが副作用発現時の対処法に要注意。  
造影剤使用許可 ( 可 ・ 不可 )

医師名

立会人

いずれかに○をつけ、ご署名ください。なお、いったん同意された場合においても、いつでも撤回することができます。

別紙の説明書を読み、その内容につき了解しましたので、

造影検査を受けることに ( 同意します。 同意しません。 )

患者様または代理人 (続柄 )

記入日

ご署名

平成 年 月 日